

平成 28 年度「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）に おける八阪中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、大阪市教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「大阪市英語力調査」（「英検 IBA」）を実施いたしました。この調査の目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることです。

学習指導要領における中学校英語の目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」と示されております。本調査で測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

- 2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1~3 年生

※本校では	3 年生 128 人	平成 28 年 10 月 31 日(月) 実施
	2 年生 123 人	平成 28 年 10 月 31 日(月) 実施
	1 年生 118 人	平成 28 年 11 月 4 日(金) 実施

3 内 容

学年	英検 IBA の 種類	英検（目安）	テスト内容		満点 スコア
			リーディング問題	リスニング問題	
3 年	テスト C	英検準 2~5 級レベル	35 題	30 題	1100 点
2 年	テスト D	英検 3~5 級レベル	35 題	30 題	1000 点
1 年	テスト E	英検 4 級・5 級レベル	35 題	25 題	800 点

* 大阪市教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

* 英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成28年度 「大阪市英語力調査」(「英検IBA」)の結果の概要と今後の取組 八阪中学校

■ 調査内容

学年	英検(目安)	テスト内容		満点スコア
		リーディング問題	リスニング問題	
3年	英検準2級～5級レベル	35題	30題	1100点
2年	英検3級～5級レベル	35題	30題	1000点
1年	英検4級・5級レベル	35題	25題	800点

■ 調査結果

【「語い・熟語・文法」「読解」「リスニング」の値は分野別平均
正答率(%)】

3年	学校平均スコア(点／1100点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検3級レベル以上の割合(%)
	770.4点	64.5%	65.5%	59.2%	60.1%
	市平均スコア(点／1100点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検3級レベル以上の割合(%)
2年	学校平均スコア(点／1000点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検4級レベル以上の割合(%)
	689.0点	71.4%	65.1%	68.7%	77.2%
	市平均スコア(点／1000点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検4級レベル以上の割合(%)
1年	学校平均スコア(点／800点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検5級レベル以上の割合(%)
	527.7点	67.5%	53.2%	65.5%	83.1%
	市平均スコア(点／800点)	語い・熟語・文法	読解	リスニング	英検5級レベル以上の割合(%)
	509.2点	63.7%	50.0%	61.6%	80.6%

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組
3年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っており、3年間語いや文法の事項等の基礎・基本を踏まえた教科指導の結果である。また、英検3級レベル以上の割合が大阪市平均より20%以上上回り、英語力が身についている結果となった。 今後はリスニング等習得した事柄を活用する機会を増やしたい。
2年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っており、2年間の教科指導が功を奏した結果となった。また、英検4級レベル以上の割合が大阪市平均より15%以上上回り、英語力が身についている結果となった。 今後も授業において、様々な言語活動を通して、さらに英語力の向上を図る。
1年	すべての領域で大阪市平均よりも平均回答率が上回っているが、1年足らずの学習の中で、文章を読むことにまだ慣れていないために、伸び悩んでいる状況であるが、話す・聞くについては練習の成果が出ている。 今後も授業において、様々な言語活動を通して、さらに英語力の向上を図る。